

保健婦メモ

子どもの健康づくり

シリーズ ④

よい子ほどかかり易い 小児心身症

心身症は心に原因があり身体症状が現われる病気です。増えている小児心身症は、大人のそのミニではなく、心と体の発達がアンバランスなどの特性があるため、大人とは異った身体症状が出現するといわれます。

家庭や学校生活で生まれる心のモヤモヤが発熱、けん怠

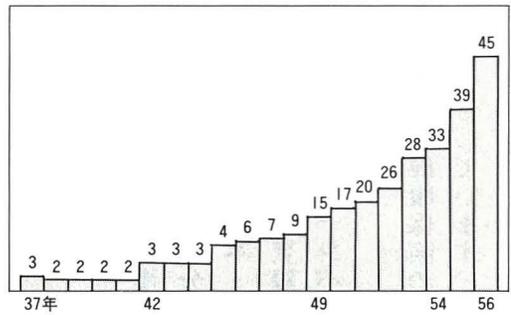
腹痛、ぜんそく、皮膚病などをもたらすわけですが、小児心身症になる子どもは、いわゆるよい子に多いようです。

このタイプの子は感情表現がへただし、たまっているストレスにも気づきにくい傾向があるため、とされています。

肝心の予防策ですが、親子のふれ合いを密にし、自分の感情を正しく表現できるように導くこと。思っていることを積極的に発言させる。そんなムードづくりが大切です。

ちなみに、「ストレス病」ともいわれる子ども胃、十二指腸潰瘍の年次推移をグラフに示しました。昭和四十九年

子ども(0~14歳)の潰瘍発見数



頃から潰瘍患者が急増しているのがわかります。

- 担当教師との心の葛藤
- いじめられっ子のストレス
- 家庭内での両親の不和が大きな原因とか。

こぼれ話

現代つ子は科学に強く関心も高いのは確かですが、半面占いの信者もかなりいます。

たとえば、女子中学生や高校生を主な読者層とする占い専門月刊誌が三十万部も発行されているとか。

占いに関する知識を扱うだけでなく、生活情報誌的な性

占いは精神安定剤

格を持つているそうですが、それにしても大変な人気。その理由なり背景は何でしょう。現代つ子も心理的な不安感につきままとわれ、情緒不安定の状態です。たとえば、不調のときに「今は運が悪い」「〇月から上向いてくる」と

いった占いの記事を読むと救われるからだ。とその道の権威は分析しています。

占いの記事は、かつこの精神安定剤になっていて、医師や親より頼りになる存在のようです。

健康ファミリーから



八日市場簡易裁判所

手続きがわかり易くなりました

八日市場簡易裁判所では、民事事件についての訴えの提起や調停の申し立てをしようとする人が、わかり易く手続きできるよようにと、受付窓口にて記入説明書付きの定型訴状用紙と定型調停申立用紙を置いてあります。(左の表参照) 利用を希望する方は、八日市場簡易裁判所民事受付窓口までお申し出ください。なお、同窓口では民事事件の手續きなどについての相談にも応じています。

もめごとの種類	もめごと等の内容	定型申立用紙等の種類 (記入説明書の折目横の表示)	
		民事調停	民事訴訟
金銭をめぐるもめごと	貸した金を返してもらえない	貸金調停	貸金請求
	物を売った代金を支払ってもらえない	売買代金調停	売買代金請求
	給料を払ってもらえない (パート、アルバイトの場合も含む)	給料支払調停	給料支払請求
	金融業者から借りた金が返せないで分割払にしてほしい 金融業者から借りた金は返したのにまだ請求を受けている	貸金業関係調停	
土地や建物をめぐるもめごと	家賃を払ってくれないので明け渡してほしい	建物明渡調停	建物明渡請求
	建物を又貸ししているので明け渡してほしい		
	建物を無断で増改築されたので明け渡してほしい		
	建物を借りている人が他人に著しく迷惑をかけているので明け渡してほしい		
	家賃を値上げしたいが、借家人が応じてくれない		賃料増額請求